



ボランティアによるブルーシート張り



ブロック塀撤去

# 大阪北部地震から1カ月

6月18日、大阪北部地震が発生し、北摂地域を中心として、大きな被害が発生しました。市内でも負傷者や家屋被害などが発生し、市は全力で対応に取り組んでいます。この1カ月間の対応状況を報告します。

## ●被害状況 (6月18日～7月18日)

区分	被害状況
人的被害	▽負傷者 8人 ▽救出者 7人 (エレベーター閉込め 6人、建物閉込め 1人)
家屋被害	▽半壊 8件 ▽一部損壊 1,161件
主な公共施設被害	▽コミュニティプラザ ▽文化ホール ▽温水プール※休館中
道路被害	95件 (塀などの倒壊による通行被害含む)
ライフライン被害	▽上水道漏水 40件、濁水 147件 ▽ガス漏れ 8件 ▽ガス停止 1,208件

## ●避難者情報

▽避難所開設 28カ所  
(7月8日全て閉鎖)  
▽最大避難者数 71人



災害対策本部会議

## 登校園した子どもは保護者との帰宅を

市立小中学校では、通学途中で地震に遭遇し、学校に登校した児童生徒もいます。市立保育所では3割強の子ど

も震度5強の揺れがありました。

**28カ所の避難所開設 71人が避難**  
6月18日午前7時58分、大阪府北部を震源とする震度6弱の地震が発生し、本市で

もたちが登園しました。登校や登園した子どもたちは、学校などで保護しました。

について調査し、小学校6校、中学校3校、幼稚園1園の合計10校園で見ました。

撤去は、6月23日から実施しており、7月18日時点で7校園で実施しました。8月未までには全ての撤去を終える予定です。

## ボランティア・他市からの応援も

震災の影響で、屋根瓦が落ちるなど、一部損壊した家屋が多数発生しました。屋根の雨漏り防止のため、大阪府、和泉市、泉佐野市から救済物

## 校園の危険ブロック塀 8月末までに撤去

市では、危険なブロック塀

は、公共交通機関の乱れで保護者の迎えが難しいなどの理由で、急いで撤去を進めています。

## 市役所4階で 防災証明を受付中

大阪北部地震の被害に伴う防災証明の発行を行っています(7月18日現在で、申請は1,699件です)。

**日時** 平日午前9時～午後5時15分

**場所** 市役所4階・防災証明申請特設窓口

**必要書類** ▽本人確認書類(運転免許証、マイナンバーカードなど) ▽被害状況のわかる写真

※申請者と世帯が異なる場合は委任状。

※住民票と罹災住所が異なる場合は、生活の本拠地であったことが確認できる書類(光熱水費の領収書など)。

**問合せ** 防災証明申請特設窓口 ☎ 06(6170) 1300へ

## 大阪北部地震・平成30年7月豪雨で 被災された皆さまへ

摂津市長 森山 一正



先日の平成30年7月豪雨における犠牲者のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災地の皆様にお見舞い申し上げます。また、6月の大阪北部地震により被災された皆様に改めてお見舞い申し上げます。

摂津市では、地震発生直後から災害対策本部を設置し、被害状況の情報収集や対応に全力を挙げて臨んでまいりました。おかげ様で、地震発生から1週間で市内の全インフラの復旧が完了し、その後は他自治体をはじめ関係機関からの人的・物的支援を得ながら、皆様が平時の暮らしを取り戻せるよう対応を続けております。とりわけ、堺市から多くの職員派遣を得て、本市の防災証明事務並びに家屋被害調査等に力強い応援をいただきましたことを市民の皆様にご報告申し上げます。

この度、市内被災者の生活支援、また安全安心の確保という観点で早急な対応ができるよう、補正予算を編成し、支援制度を創設いたしました。引き続き市の復興に全力を挙げてまいりますので、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

資として、ブルーシートが届けられ、市役所や災害ボランティアセンターなどで配布しました。

6月27日から実施している、防災証明の発行業務と家屋被害調査業務では、堺市職員約15人の応援を受けたことにより、円滑に進めることができました。防災証明は、想定より多くの申請があったため、7月17日から延長して受付を行っています。



▲防災証明書の発行で窓口業務に従事する、堺市職員